

別紙様式 45

回復期リハビリテーション病棟入院料及び特定機能病院リハビリテーション病棟入院料におけるリハビリテーション実績指数等に係る報告書

保険医療機関コード	460125595
-----------	-----------

保険医療機関の 鹿児島市南郡元町 2 4 - 1 5

所在地及び名称 南鹿児島さくら病院

開 設 者 名 医療法人 日章会 理事長 山本 英彦

保険医療機関名	南鹿児島さくら病院
郵便番号	890-0069
住所	鹿児島市南郡元町 24-15
報告年月日	2026 年 8 月 20 日
直近の報告年月日	2025 年 8 月 21 日
届出入院料	☒ 回復期リハビリテーション病棟入院料 ☐ 特定機能病院リハビリテーション病棟入院料

※（特定機能病院リハビリテーション病棟入院料を届け出ている場合は、以下における「回復期リハビリテーション病棟入院料」を「特定機能病院リハビリテーション病棟入院料」と読み替えること。）

1. 退棟患者数

①		7 年 10 月	8 年 1 月	8 年 4 月	8 年 7 月
②	前月までの 6 か月間に回復期リハビリテーション病棟から退棟した患者数	68 名	60 名	62 名	71 名

2. 1 日当たりのリハビリテーション提供単位数

①		7 年 10 月	8 年 1 月	8 年 4 月	8 年 7 月
③	前月までの 6 か月間に回復期リハビリテーション病棟に入院していた回復期リハビリテーションを要する状態の患者の延べ入院日数	6,084 日	5,799 日	5,920 日	5,984 日
④	前月までの 6 か月間に③の患者に対して提供された疾患別リハビリテーションの総単位数（i + ii + iii + iv + v）	31,013 単位	29,527 単位	30,022 単位	28,760 単位

再掲	i	前月までの6か月間に③の患者に対して提供された心大血管疾患リハビリテーションの総単位数	0 単位	0 単位	0 単位	0 単位
	ii	前月までの6か月間に③の患者に対して提供された脳血管疾患等リハビリテーションの総単位数	10,703 単位	11,833 単位	11,869 単位	9,089 単位
	iii	前月までの6か月間に③の患者に対して提供された廃用症候群リハビリテーションの総単位数	6,630 単位	6,855 単位	5,349 単位	4,323 単位
	iv	前月までの6か月間に③の患者に対して提供された運動器リハビリテーションの総単位数	13,636 単位	10,722 単位	12,731 単位	15,348 単位
	v	前月までの6か月間に③の患者に対して提供された呼吸器リハビリテーションの総単位数	44 単位	117 単位	73 単位	0 単位
⑤	1日当たりのリハビリテーション提供単位数（④／③）		5.1 単位	5.1 単位	5.1 単位	4.8 単位

3. リハビリテーション実績指数

①		7 年 10 月	8 年 1 月	8 年 4 月	8 年 7 月
⑥	前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	64 名	58 名	58 名	65 名
⑦	⑥のうち、リハビリテーション実績指数の計算対象とした患者数	51 名	46 名	46 名	55 名
⑧	⑦の患者の退棟時のFIM得点（運動項目）から入棟時のFIM得点（運動項目）を控除したものの総和	1036 点	848 点	1,007 点	1,317 点

⑨	⑦の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和	38.2634	33.7023	33.7294	36.6035
⑩	リハビリテーション実績指数（⑧／⑨）	27.08 点	25.16 点	29.86 点	36.31 点

4. 除外患者について（届出の前月までの6か月について以下を記入する。）

⑪ 届出の前月までの6ヶ月	8年2月	8年3月	8年4月	8年5月	8年6月	8年7月
⑫ 入棟患者数	14名	11名	12名	8名	12名	14名
⑬ 高次脳機能障害患者が退棟患者数の40%以上であることによる除外の有無	無	無	無	無	無	無
⑭ ⑬による除外がある場合は除外後の入棟患者数（⑬が有の場合のみ）	名	名	名	名	名	名
⑮ リハビリテーション実績指数の計算対象から除外した患者数	4名	3名	3名	2名	1名	3名
⑯ 除外割合 （⑮÷（⑫又は⑭））	29%	28%	25%	25%	9%	22%

5. 高次脳機能障害患者が40%以上であることによる除外について（⑬が有の場合には、それぞれ⑪の7か月前から前月までの6か月間の状況について記入。）

※（ ）にはそれぞれ⑪の前月を記載	（ ）月までの6か月	（ ）月までの6か月	（ ）月までの6か月	（ ）月までの6か月	（ ）月までの6か月	（ ）月までの6か月
⑰ 6か月間の退棟患者数	名	名	名	名	名	名
⑱ ⑰のうち、高次脳機能障害の患者数	名	名	名	名	名	名
⑲ 高次脳機能障害患者の割合 （⑱÷⑰）	%	%	%	%	%	%

6. 前月の外来患者に対するリハビリテーション又は訪問リハビリテーション指導の実施
(あり ・ なし)

[記載上の注意]

1. ①については、毎年8月に報告する際には、前年10月、当該年1月、4月及び7月について記入する。別の月に報告する際には、報告を行う月及び報告を行う月以前で1月、4月、7月及び10月のうち直近の月について記入する。ただし、新規に当該入院料の届出を行うなど、当該月について算出を行っていない項目については、記入は不要である。
2. ②はリハビリテーション実績指数の計算対象となったものに限る。
3. ④は選定療養として行われたもの及びその費用が回復期リハビリテーション病棟入院料に包括されたものを除く。
4. ⑫は入棟時に回復期リハビリテーションを要する状態であったものに限る。
5. ⑮の除外患者数は、入棟日においてFIM運動項目の得点が20点以下若しくは76点以上、FIM認知項目の得点が24点以下、又は年齢が80歳以上であったことによりリハビリテーション実績指数の計算対象から除外したのものに限る。
6. ⑯の除外割合は、⑬が「有」の場合は⑮÷⑭、「無」の場合は⑮÷⑫とする。
7. ⑰は在棟中に回復期リハビリテーション病棟入院料を算定した患者に限る。
8. ⑬、⑱、⑲の高次脳機能障害とは、「基本診療料の施設基準等」別表第九に掲げる「高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の場合」に該当する、回復期リハビリテーション入院料が算定開始日から起算して180日以内まで算定できるものに限る。
9. 「前月の外来患者に対するリハビリテーション又は訪問リハビリテーション指導の実施」については「あり」又は「なし」の該当するものを○で囲むこと。